

こつとつのお教育

発行／江東区教育委員会 編集／教育広報編集委員会
〒135-8383 東京都江東区東陽4-11-28 ☎3647-9111

第16号 平成22年3月5日

江東きつずクラブ 4校でスタート

安全・安心な居場所・生活の場づくりを全小学校で展開します

区では、昨年10月に策定した「江東区版・放課後子どもプラン」に基づき、この4月から放課後子ども教室（げんきつず）と学童クラブとの連携・一体化事業「江東きつずクラブ」を4小学校で実施します。

それぞれの江東きつずクラブで工夫しながら実施します。

★土曜日は児童館で実施

土曜日は実施校の近隣の児童館で江東きつずクラブを行います。放課後子ども教室と学童クラブとの連携・一体化事業を土曜日に児童館で実施するのは23区初の取り組みです。児童館行事などに参加しながら学校とは異なった環境で実施することにより、こどもたちの多様な経験と交流機会の拡大を図ります。

★今後の展開は

江東きつずクラブは、学童クラブの待機児童が出そうな小学校から順次行い、10年を目途に全区立小学校で実施する計画となっていますが、学校の増改築や学校、保護者の要望なども勘案しながら計画的に進めていく予定です。

なお、この4月からは、豊洲小学校、第一亀戸小学校、第五砂町小学校、北砂小学校の4校で実施します。

江東きつずクラブの詳細については左記までお問い合わせください。

問 放課後支援課

(3647)93008

校庭で元気に遊ぶげんきつず毛利のこどもたち



★江東きつずクラブとは

放課後や夏休みなどに児童が安全で安心してのびのびと過ごせる居場所・生活の場として、小学校の施設を活用し実施する新しい事業です。

現在、学童クラブとげんきつずはそれぞれ別々に実施していますが、江東きつずクラブはこの2つを連携・一体化して行う事業であり、当該校の児童であれば誰でも参加できます。

★B登録は

最大午後7時まで

江東きつずクラブは、A登録（げんきつず機能）とB登録（学

童クラブ機能）に分かれ、B登録

児童には専用スペースの確保やおやつ提供があり、保護者の就労要件によっては最大午後7時まで延長利用することができま

★こんな活動ができます

受付を済ませた児童は、最初に宿題や「10分学習」「10分読書」などの学習活動に取り組みます。その後は、体育館、校庭、特別教室などその日使用できるスペースで、思い思いの好きな遊びをします。この時間はA登録・B登録の交流活動であり、こどもたちは一緒に遊んで遊びます。各活動スペースには1人以上指導員を配置し、安全管理や遊びの支援をします。

その他、「英語で遊ぼう」、「感謝のお手紙」、「ドッジビー」、各種工作、環境学習など、「知・徳・体」に関わる多彩な活動メニューを学校や地域の方と連携しつつ、

新しい部活動の 設置と部活動振 興策

学校支援課では、小中学校の部活動振興の一環として様々な取組みを行っています。特にセーリング部・女子サッカー部・カヌー部・ウォールクライミング部は、拠点校方式等で他では類を見ない特色のある部活動です。

セーリング部

セーリング部は、平成20年度から豊洲北小学校を拠点校として新設した、23区初となる小中学生のセーリング部です。第一期生は、区内11の小中学校から集まった小学5年生3人、小学6年生4人、中学1年生4人の計11人でスタートしました。

練習は、都内で唯一セーリングの練習施設がある若洲ヨット訓練所を利用して活動しています。

平成21年度は新たに第2期生として小学5年生9人を迎えて、2年目のスタートを切りました。

昨年の春には、若洲で行われた東京湾レガッタレース、夏には、同じく若洲で行われた国際ジュニア大会にも参加し、大会でのレー

ス経験を重ね、日々練習に取り組んでいます。



若洲ヨット訓練所での練習風景

女子サッカー部・カヌー部・ウォールクライミング部

平成21年度には、女子サッカー部・カヌー部・ウォールクライミング部の3つの部活動を新設しました。

第四砂町中学校を拠点校として、9つの中学校の37人でスタートした女子サッカー部は、公立中学校では23区初となる区立中学校女子サッカー部です。

日本体育大学女子サッカー部が指導にあたり、練習メニューの作成やコーチングを行っています。

また、趣旨に賛同した日本サッカー協会が支援を申し出て、「な

でしこジャパン」が北京五輪で使ったボール30個を寄贈していただきました。今年の1月には、東京都ガールズU-14サッカー大会にも参加しました。



東京都ガールズU-14サッカー大会

カヌー部は、大島中学校を拠点校に3つの中学校、生徒8人でスタートしました。練習場所の無償提供を申し出ていただいた船の科学館プールや大島中学校プールのなどで活動しています。指導には、フラットウォーター種目の競技経験者があたり、部員の技術習得に協力しています。今後は、練習用のカヌー艇などを使いながら、小名木川などの内部河川で練習を行う予定です。

今年の1月には、松戸市内の江戸川で行われた千葉県知事杯争奪クラブ対抗カヌー競技大会にも参

加し、入賞者も出しました。



江戸川で行われたカヌー競技大会

ウォールクライミング部は、臨海小学校の5・6年生計14人でスタートしました。練習は、クライミングウォール設備がある深川スポーツセンターで行っています。指導には、同センターで開催されているクライミング教室の指導を行っている東京都山岳連盟の経験者があたっています。



深川スポーツセンターでの練習風景

新しく設置された部活動は、いずれも江東区の地域特性や区内施設を活用した特徴のある部活動であり、将来のオリンピックや国体で活躍できる選手の輩出も期待されています。

野球部の復活・その他

新しい部活動の設置だけでなく、休部や廃部になっていた部活動の復活も支援しています。

野球部は、昨年4月に亀戸中学校・大島中学校・南砂中学校・第四砂町中学校の4校で復活しました。元プロ野球の投手の方や少年野球の指導経験のある外部指導員を拡充し、支援を行っています。単独では出られない場合でも、同じく復活した中学校との合同で新人大会にも出場しています。

その他にも、昨年12月には、中学校部活動優秀生徒表彰式を行っている、当日は支部対抗陸上の総合優勝など61名の生徒が区長からメダルを授与されました。

部活動はごもたちの豊かな人間性や社会性を育み、集中力や忍耐力を培います。教育委員会は、体力向上にも資する運動部活動や豊かな教養を深める文化部活動を今後とも支援していきます。

問 学校支援課 学校支援係

(3647)9307

教育センター通信

江東区教育センターでは、各種の事業を通して、江東区で学ぶ子どもたちの主体性や、自立の心をはぐくむサポートをしています。

本号では、新規採用教員の職場体験での取り組みと、江東区民まつりでの「CDを使ったこまなどのまわるおもちゃ」制作支援、並びにスクールカウンセラーの各学校でのかわかりの様子などを紹介いたします。

視野の広い教師をめざして — 新規採用教員研修 —

今年度新規採用された幼・小・中の教員は、学校や教育センターほか、いろいろな場所で職場体験による研修を行っています。

特にこの職場体験は、視野を広げ、教師としての資質の向上を図ることをねらいとしています。

夏休みは、保育園・特別養護老人ホームなどの施設や、会社・スーパーマーケットなどの企業で、一人二カ所（5～6日）の職場を体験しました。

また、秋には、中学校の教員が幼稚園や小学校へ行き、指導や様々な活動をするなど、他校種の体験研修を行いました。

自分の教えていることも年齢の異なった子どもたちに接し、新たな気づきや発見があり、多くのことを学びました。



他校種参観で幼児と手遊び

これまでの仕事とは違い、多少の戸惑いもあったようですが、新たな経験を積むことができ、大きな収穫がありました。

初任者からは、「あらためて働く厳しさを実感し、公務員としてがんばらなければと思った。」

「相手の立場に立って働くことが大事であることを実感した。」などの感想が寄せられ、資質の向上につながりました。

まわる！ まわる！

アラカルト

今年度の江東区民まつりは、10月18日（日）に木場公園で行われました。

江東区教育センターでは、子どもたちに、「ものづくり」の面白さを体験させたいと考え、「コンパクトディスク（CD）を使ったこまづくり」と「かざぐるま」の制作に取り組みしました。

CDを使ったこまづくりでは、はじめに、タビオカストローとビーズで芯になる部分を作ります。

次に、模様が印刷されている用紙をはさみでいねいに切り、CDにのりで張り合えます。芯になる部分を取り付けて完成です。

芯の部分をじょうずに手で回すと様々な模様に変化していく様子がとてもよくわかります。

「いろいろな色が見えてきれいだね。」

「CDが浮き上がって見える。」などの声が聞かれました。

さわやかな秋空の下、親子で楽しそうに制作している姿は、ほほえましい限りでした。



CDを使ったこまづくりにチャレンジ

スクールカウンセラー

相談風景

区内各小中学校に配置されているスクールカウンセラーは、登校の様子、また友だちや勉強のことなど、様々な心配事について保護者の方から相談を受けたり、子どもたちが、誰かに話したり聞いてほしい時に、気軽に話せる相手として認められています。

以前、「学校に行きたくない。」と言いだめたこともどう接してよいか、その対応に苦慮されている保護者の方から相談がありました。

すぐに学校に相談してよいのかと迷っていたようですが、スク

ールカウンセラーとの話し合いを通して、家庭でも子どもの現状を理解し、見通しを持って対応することができました。

また、本人との面接を通して、クラスの友だちとのトラブルについての理解が深まり、保護者や本人の了解の上で、担任の先生と連携を図ることができました。

子どもにとって学校やクラスが安心できる場になっていったよう

です。

どなたでも、気軽にカウンセラーにご相談ください。



カウンセラーと保護者との面接風景

問 教育センター

(3647) 7121



★読書週間に本を読んだよ!

大勢のごどもたちから本の紹介をしてもらいました

毎年、文化の日(11月3日)を中心にした2週間が読書週間ということを知っていますか? 平成21年度の読書週間(10月27日~11月9日)には、図書館から学校にお願いして、読書週間のPRポスターの掲示と、みなさんの読んだ本をまわりの人にも紹介してもらおうと、読んだ本の感想を募集しました。

募集の結果、小学校から3106枚、中学校から572枚が集まりました。「楽しいです」「おもしろい」「主人公の気持ちが変わった」「勇気をもらった」といろいろな感想があり、その本の自身がちょっとびっくりわかって、読む楽しさが伝わり「読んでみたい」と誘われるものばかりでした。本を読むと脳はフル回転します。文字を読んで、言葉からいろいろな感情が湧いてきて、脳の中のさまざまな部分が活発に働きます。

また集中力が高まり、想像力も養われます。時には、クラスメイトと読書談議に花を咲かせることもあるでしょう。

平成21年度は学校図書館も本が増え、充実しました。区立図書館も学校と連携し、団体貸出や出張おはなし会、図書館案内などで、こどもの読書活動を推進しています。今年も国民読書年。本の世界は無敵です。身近な本を手にとってお気に入りの1冊を見つけてください。

区立図書館の本も学校図書館の本も、みんなが読んでくれるのを待っています。



★児童書(絵本・読み物)を保育園・小学校等で再活用

読まなくなった絵本等は、お近くの図書館へ

区立図書館では、古くなった本や、貸出回数が少なくなった本、汚れた本などを随時、整理しています。

その中で、まだ、使用できそうな本については、毎年、区民まつりの「リサイクルブックコーナー」に出したり、保育園・幼稚園・小学校や公共施設などに提供しています。

特に、こども向けの絵本や読み物はとても人気があります。

区立図書館では、こどもの成長とともに家庭で使わなくなった絵本や読み物等を寄贈していただき、保育園・小学校などの施設で再び活用する事業を行っていますので、ご協力をお願いします。

本が破れたり、汚れたり、落書きがあるものは、提供できません。使用できる状態の児童書(絵本・読み物)をお近くの図書館までお持ちください。寄贈した後の活用は図書館に任せください。

寄贈と問い合わせは各図書館へ!

江東区立図書館所在地一覧

Table with 3 columns: 図書館名 (Library Name), 所在地 (Location), 電話番号 (Phone Number). Lists 14 libraries across the region.

*白河こどもとしょかんは、改築工事のため休館中です。

戦争中の学童疎開体験を語りつく資料が江東図書館に

第二次世界大戦末期、東京の小学校(当時は国民学校)3~6年生が、空襲などの戦火を逃れるために地方へ疎開しました。江東区でも約1万2千人の児童が家族と別れ、新潟・山形で疎開生活を送りました。

この貴重な体験を次世代へ伝えていくために、体験者の記憶や資料の掘り起こしが熱心に行われ、その結果として記念誌「戦火を逃れて 新潟・山形へ」が平成7年に刊行されました。そして、集められた貴重な資料を保存・展示するため「江東区学童集団疎開資料室」が第四砂町小学校に設置されました。この資料室が、平成21年8月に江東図書館に移り、3階展示コーナーで、資料保管及び展示公開を行っています。

疎開先での学童の写真や集団疎開の年表、疎開生活の説明パネルのほか、当時使用した日用品、疎開児童への親からの手紙、疎開生活を記録した日誌などを展示しています。

ぜひ資料室を見学し、学童疎開という歴史的な事実を通して、戦争の悲惨さと平和の大切さを改めて考えてほしいと思います。



平成21年度広報紙研修分科会風景

P T Aで学ぶ、見つける、楽しむ!

江東区の小学校では、こどもの保護者と教師によるPTAが組織され、活動しています。今回はPTAの皆さんの研修の様子等を報告します。

小中学校の保護者と教師によって構成されるPTAは、家庭と学校を繋ぐ大切な組織です。こどもたちの豊かな学びや安心・安全な環境の整備にむけて、日々活動しています。

現在PTAでは、役員のみならず、江東区の場合、全国学校PTA広報紙コンクールに入賞したり、全校のチーム対抗によるバレーボール大会を催すなど、元気がいっぱい

です。教育委員会はこうしたPTAの活動を研修面から支援しています。

毎年役員を対象に、基礎研修、広報紙研修、活動事例研修を実施し、各校の代表による研究協議、情報の交換を行っています。

江東区に引越してきたばかりの時には友達がいなかったという方もPTAに関わることで気のあう仲間ができ、こどもが卒業しても交流が続いているそうです。

こどもを育てるなかでの戸惑いや不安を受け止めあい、互いに意見や情報を交換することはこどもを育てる大人の力になっていることを感じます。



● 研修活動

広報紙研修では、各校から持ち寄った各校広報紙をみんなで検証

し、会員の興味をひく楽しい広報紙づくりをめざします。個人情報保護、記事の取材、調査の方法、レイアウトの基礎、写真の撮り方などを学びます。カラー印刷でなくても読みやすく、興味をひかれる広報紙には賞賛の声が溢れました。

各校の広報紙からは、先進的な活動の様子が伝わってきます。

こどもたちの安心・安全な環境整備のための取組み、保護者を対

活動事例研修資料

「引継ぎマニユアル」の一例

江東区立小学校PTA(広報紙科) 2008.7.22 活動委員研修資料

寄附 A の添付資料
④の1【交際費申請書受領書】

委員会が取り次ぐ交際費は、目的・用途、金額・枚数を記録し、提出する。

交際費申請書受領書

年度	申請金額	本部 支給
2008年度	1000	1000
2009年度	1000	1000
2010年度	1000	1000
2011年度	1000	1000
2012年度	1000	1000
2013年度	1000	1000
2014年度	1000	1000
2015年度	1000	1000
2016年度	1000	1000
2017年度	1000	1000
2018年度	1000	1000
2019年度	1000	1000
2020年度	1000	1000
2021年度	1000	1000
2022年度	1000	1000
2023年度	1000	1000
2024年度	1000	1000
2025年度	1000	1000
2026年度	1000	1000
2027年度	1000	1000
2028年度	1000	1000
2029年度	1000	1000
2030年度	1000	1000

※申請書提出時にこの表を提出して下さい。

2. 発行した:

金額: 1000円

発行日: 2022年3月5日

本部 支給

PTA 代表者

寄附 A の添付資料
④の2【校内交際費の口座】

お預け金としてお振込みの際は、必ず振り内訳を記入し提出すること。

「経費申請書」にその1とお振込みを添えてお振込みをお願いします。領収書が多額ある場合は、領収書添付用紙を使用する。

運動会のご案内

来賓各位

日時・場所が記載

象とした調査活動の研究報告や地域との連携教育など、足と手をつかった広報活動です。

活動事例研修では、各PTAが力を入れて取り組みをしていることや創意工夫をしていることなどの事例を発表し、PTA活動に活かしています。

一例として、毎年役員の間でPTAの引継ぎマニユアル等について事例を発表し、協議を進めました。

岡 庶務課社会教育担当

(3647)・(9676)

いきいき スクール ネットワーク

40歳のお誕生日

辰巳幼稚園

辰巳幼稚園では、開園40周年記念式典・集会・祝賀会を11月13日に行いました。

幼稚園のこともたちによるお祝いの歌やダンス、そして、学級名にちなんでのリンゴの木の植樹を行いました。

辰巳幼稚園は、40年の歴史の中でも幼・小連携を積極的にを行い、継続してきました。

周年行事でも、幼稚園のこともたちだけでなく、併設の辰巳小学校の全児童が参加して、幼稚園の歌などを一緒に歌いお祝いしました。園児と児童の歌声が、体育館中に響き渡りました。

辰巳幼稚園の40年の歩みは、保護者・地域・学校など様々な方に

支えられていることを強く感じました。皆様のおかげでこの40年があったのだと思います。
これからも、園長を中心に、これまでの歴史を大切にしながら、ふるさとを愛する思いやりのある辰巳の子の育成に力を注いでいきたいと思えます。



辰巳幼稚園開園40周年記念の植樹

心も体も元気な枝川っ子に 枝川小学校

「たるまさんがころんだ。」
「みんなでリレーをしよう。」
1回、給食終了後に行われる「異学年交流タイム」です。

全校745名のこともたちが、24の班に分かれ、6年生がリーダーとなり運動遊びや集団でのゲー

ムなどを楽しんでいます。

枝川小学校では、心も体も元気な子を育てていくために、友だちとかかわりながら集団で活動したり、運動に親しんだりする取り組みをしています。

中休みの「みんなで遊ぼう」でも、いろいろな運動遊びを楽しんでいます。先生の紹介したダンスを踊ったり、長なわで連続跳びに挑戦したり、ドッジボールもしています。

心も体も元気な枝川っ子が育つていけば、一人一人のよさがいっそう発揮され、いろいろな力を伸ばしていくことにつながると思います。



枝川っ子の異学年交流タイム

「また来てね」

東陽中学校

東陽中学校と特別養護老人ホーム「江東ホーム」との交流は、20年以上の歴史を持っています。

その内容は、運動会への招待、文化祭での作品展示、生徒による訪問交流です。

訪問交流は、生徒会を中心に、吹奏楽部、アートフラワー華道部、および希望者で構成され、7月と12月の2回、盛大に行われます。

はじめに、吹奏楽部恒例の「美空ひばりメドレー」、続いて、寸劇や季節の童謡・演歌をみんなで歌います。

最後に、アートフラワー華道部より、各部屋にアレンジフラワーのプレゼントがあります。

特に、都大会B組銀賞に輝く吹奏楽部の演奏は人気があり、みなさん心待ちにしてくれています。

毎年、生徒のボランティア活動への意識が高まり、昨年の7月には総勢で70名を越えました。

「お祭りマンボ」という歌は、知らなかったのが難しい。「喜んでもらえて、とてもうれしい。」と生徒は感想を話しています。

「放課後一週間の練習で、聞いたこともない曲を5曲も覚えてもら



「江東ホーム」との交流

うのは、大変でしたが、生徒はよくやりました。」と担当者は話していました。

約1時間の交流ですが、互いに気心が通じ合い、別れ際には必ず「また来てね。」はい。また来ます。」の声飛び交います。

交流の際には、みんなでこのひとときを心ゆくまで楽しんでいきます。



鍛えて元気！心と体 元加賀小学校

元加賀小学校は、今年度東京都スポーツ教育推進校に指定され、校庭でさまざまな運動ができるよう工夫してきました。

元加賀小学校は、伝統的に一輪車競技への取り組みが盛んです。また、6年生は、独自にチャレンジ水泳に取り組んできました。

「一輪車」は、ゲストティーチャーを招いて練習し、土曜日に開催しているウィークエンドスクールでも年間を通して取り組み、発表会を開いています。



一輪車の高度な技にも積極的にチャレンジ

6年生の取り組みでいる「チャレンジ水泳」は、最大千メートルの目標を立てて挑戦します。今年も見事に全員が、自分達でたてた目標を達成しました。

保護者の中には、かつて元加賀小児童として挑戦した方もいて、「チャレンジ水泳がその後の大きな自信になった。」という言葉も聞かれました。

長い人生の根本をつくる大事な時期に、心と体を鍛え、大きなことをやり遂げた充実感を味わわせることが大切だと考えています。

楽しい一亀まつり

第一亀戸小学校

「おばけやしきは、こわいよ。」
「出られない、段ボール迷路だよ。」

「たぐさん魚が釣れるよ。」
第一亀戸小学校では、2年生から6年生の10学級で、いろいろな出し物のお店を開いた「一亀まつり」を6月19日に行いました。

第一亀戸幼稚園児と1年生は、お客さんとして参加しましたが、お店の人の言うことを真剣に聞き取り、夢中でゲームに取り組んでいました。

2年生以上は、学級を2グループに分け、前半と後半で、お店の人とお客さんになり、両方の立場を楽しみました。

お店の人は、「へい、いらっしやい！」などと、大きなかけ声を出したり、出し物の説明をしたりし、たぐさんのお客さんを自分の店に呼ぼうと必死になっていました。買い物をすませたお客さんは、お店の人にスタンプカードを押してもらい、とてもうれしそうでした。まつりが終わった後で、「本当のお店の人の大変さが分かったような気がする。」という感想も聞かれました。



一亀まつりのお店とお客さん

五感を磨く・力をつける

扇橋小学校

扇橋小学校では、後期の10月から3月まで、全校児童によるジョギングタイムを実施しています。

朝、8時20分の音楽を合図に、低学年が内側のコース、中を中学年、外側を高学年が自分のペースで元気よく校庭を走ります。

12月17日には、木場公園で全校マラソン大会がありました。

今年度からの初めての取り組みで、新型インフルエンザや天候など心配しましたが、当日は好天に恵まれ、保護者の方々の応援もあって、全員元気よく完走することができました。

6年生は、インフルエンザによる学級閉鎖のため、一週間遅れで実施しました。

千五百メートルで1位の記録を残した6年生の男子は、「40秒近く自己記録をちぢめることができました。」と、とてもうれしそうでした。

「千里の道も一歩から」日々の練習の積み重ねと、一人一人が自分の目標を持って取り組む姿勢が新たな伝統をつくっていくことでしょう。

地域の環境に恵まれている扇橋



木場公園での全校マラソン大会（扇橋小）



小学校では、木場公園の菜園を借りてサツマイモ栽培を行ったり、仙台堀川親水公園で季節観察を行ったりしています。

地域ボランティアの方々との協力を得て、様々な活動を行い、こともたちの感性を磨き、力をつけています。

子どもまかせにしない 学校裏サイト監視事業

1 子どもを見守る

江東区では、全区立中学校を対象に、いじめなどの温床とされる「学校」裏サイトの監視を平成21年4月から行っています。

「学校裏サイト」とは、インターネットや携帯電話で書き込みができ、特定の学校やその学校に通う人物の話題を扱う、非公式サイトのことです。11月までに削除が必要だと思われる79件の書き込みが見つかり、75件の削除をすでに行いました。

また、自己紹介サイト（通称「プロフィール」）も、個人を特定できる情報がのせられていたり、中学生が書いているにもかかわらず、喫煙や飲酒にかかわることが書き込まれていることもあります。掲示板とあわせて確認をして、学校での指導に役立てています。

「学校裏サイト監視事業」という名前を聞くと、「子どもが悪いことをしないように見張っている」という印象を受けるかもしれませんが、むしろ「子どもが危険にあつたり、いやな思いをしたりしないように大人がみんなで見守る」ことを目的としています。



専門業者による見守り

2 保護者や地域とともに

インターネットや携帯電話は子どもたちが学校から帰った、家庭や地域で多く使われることになりました。学校で、使い方のルールを知ることも大切ですが、それ以上に家庭で子どもと使い方の約束を決めて、それを守らせることが、子どもたちを危険から守り、また、お互いによい思いをしなごうことにつながります。

教育委員会では、講演会を開き、子どもたちがネット上でなにをしているのか、また、どのようなリスクがあるのかを大人が知る機会をつくっています。保護者も、地

域も、学校も、みんなが子どもたちを見守ることこそが大切です。

子どもが困ったときに、一緒に考えてくれる大人がそばにいてくれる環境を作りたいものです。

3 日ごろからの意識を高める

学校でも調べ学習をするのにインターネットを使います。今やインターネットや携帯電話はとても身近なものになっています。

使う機会の多いものだからこそ普段から、その使い方には注意をする必要があります。

江東区では、「こうとう」ではじまる4つのルールを『こうとうのやくそく』として、子どもたちに意識できるように伝えていきます。

● **こ**どもまかせにしない

● **う**ちの人とルールをきめる

● **と**らがるに巻き込まれない

● **う**けてのことを考える

● **う**けてのことを考える

4 「こうとうのやくそく」を歌にのせて

普段から子どもたちに意識してもらうため、このやくそくをメロディーにのせて歌にしました。曲はCDにして、区立幼稚園、小学校、中学校に配布をし、校内放送などで活用しています。

「こうとうのやくそく」

インターネットや携帯電話
とっても便利な 道具だけれど
こわいことも つまびがあるを
正しく使おうね

しあわせをまもる
みんなの合言葉
こうとうのやくそく
君は知ってるかい

さあ みんなで
（※）

こー！

こどもまかせにしないでね
うー！

うちのひととのルールをきめて
うー！

トラブルにまきこまれないでね
とー！

情報あふれる毎日の
だいにのみちしるべ
こうとうのやくそく
きみは知っているかい
（※）繰り返し
おぼえて つかっ
（※）繰り返し
みんなで まもろう
こうとうのやくそく

曲を聴けば、「こうとうのやくそく」を思い出し、「注意して使わなければ」という、気をつける機会を増やすことができます。



「こうとうのやくそく」CDジャケット

子どもたちや保護者の方が聞けることができるような場で、この曲をかけていただけるようお願いいたします。左記の問い合わせ先までご連絡ください。

問 指導室

03(5644)9779